

さんびいすの教職員向け研修カリキュラム 一覧

新たな授業スタイルの体験と授業案作成のためのプログラム	教員自身の情報活用能力（授業での実践）を目的としたプログラム	教員自身の情報活用能力（リテラシ）向上を目的としたプログラム
<p><b>プロジェクト型授業スタイル</b></p> <p>プロジェクト型の授業とは、児童・生徒が教員の提供する知識を受動的に覚えるのではなく、教員の発案した課題を自ら（能動的に）調べ、仮説を立て、証明していく過程を経て、自ら新たな知識を身につけ、学びの楽しさを知っていく学習スタイルです。その為、教員の発案は子ども達にとって「達成すべき課題」であり、子ども達はチーム（プロジェクト）で、その課題の解決にあたり、教員はファシリテータとして子ども達を導きます。</p>	<p><b>情報活用能力バージョンアップ講座</b></p> <p>情報機器の使い方を知っている（自分が使える）事と、授業の中で子ども達に情報機器を使って効果的な情報の提示が出来る事は違います。日頃自分達が使っている身近な教材を見直す事で、情報機器の効果的な利用方法と、児童・生徒への提示能力がワンランク上がります。</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材をバージョンアップ</li> <li>・インターネットの活用と問題点</li> <li>・授業をバージョンアップ</li> <li>・Webの効果的な利用方法</li> </ul>	<p><b>情報機器全般に関するリテラシ講座</b></p> <p>まずは教員自らが情報機器に対する苦手意識を無くす事が先決です。マイクロソフトオフィスをはじめ、授業や教材作りに使える定番ソフトの使い方から、構内LANを利用した情報管理まで、情報活用に必要なリテラシ全般を必要に応じ学べます。</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション（パワーポイント、フォトストーリー）</li> <li>・画像処理（ペイント、フォトショップ、フォトエディタ）</li> <li>・マルチメディア（アイチューン、フラッシュ）などにも対応。</li> </ul>
<p><b>評価の視点を取り入れた授業スタイル</b></p> <p>評価とは、全ての授業が終わった後に振り返ることではなく、授業の前に「授業を行う目的」を明確にし、その目的が授業で達成出来たか・ねらい通りに事が進められたか・うまくいかなかった理由はどこにあるのかなどを教員・児童・生徒が、それぞれの立場・役割から振り返り、次の授業にその結果を活かしていく事です。また、評価には自らの振り返る自己評価や活動を共にした他の人から受ける相互評価、第三者から受ける他者評価など、さまざまな振り返り方があります。</p>	<p><b>プレゼンテーション能力（表現力）アップ講座</b></p> <p>プレゼンテーションと一口で言っても、場所・相手・目的などにより、利用可能な手法や表現方法は様々。情報機器を活用したプレゼンテーションはもちろんのこと、プレゼンテーションとは、一体何なのか？何が一番大切なのかといった基礎技術から教科教育での効果的な活用方法までを、ロールプレイングなどのワークショップを通して体感してもらいます。</p>	<p><b>著作権・ネットワークモラルに関する講座</b></p> <p>情報機器の使い方を教えるだけではなく、児童・生徒に正しく安全に情報機器が活用出来るように、著作権やネットワークモラル（ネチケット）も教えたいものです。そのためにも、まずは教員自身が正しい理解を持つ事が重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権法の正しい理解</li> <li>・ネチケット</li> <li>・個人情報保護</li> <li>・セキュリティ（携帯電話・インターネット）</li> </ul>
<p><b>社会（企業や地域の人々）との交流を取り入れた授業スタイル</b></p> <p>産学協同、体験重視、これまでの教育以上に今、実社会（学外）との結びつきが求められています。協力してほしい企業への依頼方法から、授業案作成、先方とのスケジュール調整など、授業実施までのトータルコーディネートと、外部講師の効果的な利用法までを、学校の現状に合わせて学べます。</p>	<p><b>デジタルコンテンツ活用講座</b></p> <p>教材を一から作るのではなく、インターネット上にある教育資源の中から、みずからが行いたい授業に必要な情報を効果的に収集し、加工・再利用をする事で、今までとは一味違った授業の準備が短時間で出来るようになります。</p>	<p><b>プレゼンテーション（情報機器）活用講座</b></p> <p>プレゼンテーションソフトの代表であるパワーポイントの基本操作から、効果的なプレゼンテーションの作り方、他のソフトとの連携など、具体的に使える技術が学べます。</p>
<p><b>児童・生徒が主体（教員はファシリテータ）の授業スタイル</b></p> <p>授業の主役は児童・生徒です。では、教員の役割とは一体なんなのでしょうか？ 私たちは教員＝ファシリテータと位置づけ、児童・生徒の無限の可能性を最大限に引き出す事が出来る重要なキーマンであると考えています。そこで、具体的な事例に沿って、授業の中で利用可能なファシリテータ技術を学び、自らの授業に活かしていく事が出来ます。</p> <p><b>ファシリテータとは</b></p> <p>組織や集団による問題解決や合意形成、学習促進などのコミュニケーション活動の場において、議論や話し合いをマネジメントする役割を指します。具体的には、参加者の主体性を引き出しコミュニケーションを活性化させることで、多様な意見の交換の中から新たな発見や可能性、アイデアを見出すことを促し、個々の知恵を創造的な成果に結び付けていくことを支援する事です。</p>	<p><b>学校現場での情報管理講座</b></p> <p>学校は個人情報の宝庫です。個人情報保護法の正しく理解し、セキュリティに関する知識や犯しやすい具体的な人的ミス事例などを知り、学校全体で情報管理の意識を高められます。</p>	<p><b>次世代情報機器入門講座</b></p> <p>i-podや携帯電話など、今後ますます利用が進む情報端末機器の特徴や既に行われている先駆的事例などを学べます。</p>